

第2次安曇野市環境基本計画

# 令和元年度 年次報告書

---

2020年3月

安曇野市

## 目 次

1	年次報告書について	1
1-1	目的	1
1-2	記載事項	1
1-3	留意事項	1
2	第2次安曇野市環境基本計画について	2
2-1	環境基本計画の基本事項	2
2-2	安曇野市の環境の現状	2
2-3	安曇野市がめざす環境のすがた	2
2-4	望ましい環境をつくるための取り組み	2
2-5	計画の推進体制と進行管理	2
3	安曇野市環境行動計画（2018—2022）について	2
4	安曇野市環境基本計画実施計画書について	2
5	2019（令和元）年度の取り組み	3
5-1	安曇野市環境審議会	3
5-2	環境基本計画の推進	4
5-3	環境行動計画の推進	4
5-4	環境指標達成状況	3 3
5-5	参加と協働	3 4
6	その他	3 5
6-1	安曇野市環境基本計画庁内調整会議	3 5
6-2	安曇野市生物多様性アドバイザー	3 5
6-3	安曇野環境市民ネットワーク	3 5
7	参考資料	3 9

## 1 年次報告書について

### 1-1 目的

[安曇野市環境基本条例](#)（以下「条例」という）第10条に基づき、市の環境の現状や環境の保全と創造に関して行った施策について公表するものです。市の環境の現状や課題、この一年の取り組みについて市民・事業者の皆様と情報共有するとともに、その評価や反省点を今後の施策の展開につなげていくことを目的としています。

### 1-2 記載事項

[第2次安曇野市環境基本計画](#)（以下「基本計画」という）、環境行動計画2018-2022（以下「行動計画」という）に基づき、本市が2019（平成31）年4月1日から2020（令和2）年3月31日までの間に取り組んだ環境に関する施策の実施状況を記載しています。

なお、省エネ・省コストを考慮し、以降の記載は前述の条例・計画の参照を前提とし、基本計画で定めた環境指標の状況や、行動計画において重点的に取り組むものとして選定された全27のプログラムの経過と結果を簡潔に記載するものとします。

本書の記述についての不明な点や取り組みの詳細は、基本計画のほか、[安曇野市里山再生計画等の環境に関連する個別計画](#)及びそれらに基づく報告書を参照していただくか、各取り組みの担当課までお問い合わせください。

### 1-3 留意事項

本書に記載の計画等は、市ホームページ上に公開されています。初出の箇所（[青字](#)で記載）をクリックすると掲載ページへのリンクが開きますので、必要に応じてご活用ください。（インターネット上で本書を閲覧されている場合のみ）

## 2 第2次安曇野市環境基本計画について

2008（平成20）年に制定した[安曇野市環境宣言](#)を基本理念として、より良い安曇野の環境を実現するための行動指針となるもので、環境の保全および創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、望ましい環境のあり方や環境施策の基本的な方向性などを示しています。また、本市の最上位計画である[第2次安曇野市総合計画](#)を環境面から推進する役割を担っています。

### 2-1 環境基本計画の基本事項

基本計画策定の背景、第1次基本計画の評価、第2次基本計画の基本的事項について記述しています。詳細は、基本計画第1章（P1-18）を参照してください。

### 2-2 安曇野市の環境の現状

安曇野市の概況、自然環境、生活環境、資源循環・地球環境、参加と協働について記述しています。詳細は、基本計画第2章（P19-56）を参照してください。

### 2-3 安曇野市がめざす環境のすがた

安曇野市の環境づくり、望ましい環境像・基本目標、環境指標、計画の体系について記述しています。詳細は、基本計画第3章（P57-64）を参照してください。

### 2-4 望ましい環境をつくるための取り組み

取り組みの基本的な考え方、取り組みの推進（個別目標）、重点取り組みの推進について記述しています。詳細は、基本計画第4章（P65-102）を参照してください。

### 2-5 計画の推進体制と進行管理

推進体制、進行管理、その他の計画推進方法について記述しています。詳細は、基本計画第5章（P103-111）を参照してください。

## 3 安曇野市環境行動計画（2018-2022）について

基本計画で定めた51の重点取り組みのうち、目標を数値で把握できるものを中心に27のプログラムを抽出し、その目標達成のための具体的な進行管理の方法を示した行政計画の一つです。基本計画の前期にあたる2018年度から2022年度を計画期間としますが、各年のPDCAサイクルによる点検・評価と改善、社会情勢の変化等により、随時見直しを行います。

行動計画で選定した取り組みの実施状況は、本書6ページ以降に掲載しています。

## 4 安曇野市環境基本計画実施計画書について

行動計画で選定した取り組みをプログラム化し、一年間に実施する内容を具体的に示した計画書です。進行管理シートにより目標や結果、課題を管理し、見出された改善点を翌年の計画に反映します。

## 5 2019（令和元）年度の取り組み

本年度の取り組みを条例に基づくもの、行動計画に基づくもの、基本計画の4つの基本目標の一つである「参加と協働」に基づくものに区分し、順次記述します。

### 5-1 安曇野市環境審議会（条例第17条関係）

[環境審議会](#)を以下のとおり開催し、環境の保全及び創造に関する事項について審議しました。

日付	会議名称	内容
2019（平成31）年 4月22日	第1回	(1)平成31年度環境課及び廃棄物対策課の当初予算概要について (2)平成31年度安曇野市一般廃棄物処理実施計画について (3)住宅用太陽光発電効果検証アンケートについて
7月10日	第2回	(1)平成30年度 環境基本計画 年次報告書について
2020（令和2）年 1月27日	第3回	(1)令和元年度 環境基本計画 年次報告（中間）について (2)住宅用太陽光発電効果検証アンケートの結果について (3)畜産悪臭問題に関する住民アンケートの結果について
3月17日	第4回	(1)令和元年度 環境基本計画 年次報告書について (2)安曇野市環境行動計画（2018-2022）の一部見直しについて (3)令和2年度 環境基本計画 実施計画書について

## 5-2 環境基本計画の推進

基本計画の基本目標4、個別目標15、主要施策47項目に基づく各種施策を展開しました。

### 5-2-1 重点取り組み

基本計画に定めた施策のうち、個別目標1から12にかかる51の重点取り組みについて、行動計画に選定したものを含め、各担当において取り組みを進めました。

## 5-3 環境行動計画の推進

基本計画に定めた51の重点取り組みのうち、環境指標に絡み、数値目標を定めて特に厳密に進行管理を行うべきものとして抽出した27のプログラムについての取り組み状況を次に示します。

### ○環境行動計画における重点取り組み一覧

種別	No.	重点取り組み	担当課・係
環境基本計画事業	1	シンボル種(オオルリジミなど地域の生態系を代表する種)やレッドリスト種などの保護活動を推進する。	環境課 環境政策係
	2	外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。	環境課 環境政策係
	3	悪臭防止法に基づく臭気指数規制の適切な運用を図る。	環境課 環境保全担当
	4	管理不十分な空家などへの指導をする。	環境課 環境保全担当
	5	広報などで分別の徹底を啓発する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	6	事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	7	分別方法を分かりやすく説明する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	8	安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。	環境課 環境政策係
	9	地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。	環境課 環境政策係
	10	公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。	財産管理課 施設経営担当
	11	緑のカーテンの導入を推進する。	環境課 環境政策係
	12	住宅用太陽光発電の効果を検証する。	環境課 環境政策係

種別	No.	重点取り組み	担当課・係
各分野における基本計画事業	13	薪の地産地消率向上を推進する。	耕地林務課 林務担当
	14	里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。	耕地林務課 林務担当
	15	里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぶろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。	耕地林務課 林務担当
	16	松枯れ対策事業を継続して行う。	耕地林務課 林務担当
	17	農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。	農政課 集落支援担当
	18	荒廃農地対策を行う。	農政課 集落支援担当/農業委員会
	19	県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。	農政課 生産振興担当
	20	学校における食農教育を推進する。	農政課マーケティング担当/学校教育課 教育指導室
	21	鳥獣被害防止計画を策定(見直し)し、実施する。	農政課 集落支援担当/耕地林務課 林務担当
	22	多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。	耕地林務課 耕地担当
	23	緑の恵みを感じることができる講座を開催する。	都市計画課 公園緑地係
	24	景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。	建築住宅課 建築景観係
	25	地下水涵養に資する手法等の調査・研究・試行を実施する。	環境課 環境保全担当
	26	雨水貯留施設の設置に対する補助を行う。	環境課 環境保全担当
27	デマンド交通「あづみん」、「定時定路線」の運行を行う。	政策経営課 交通政策係	

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	自然観察会の開催 年5回 延べ参加者150人以上	・自然観察会の開催	5/26、 6/8 7/6、8/3 8/31
② [定量-1]	生物多様性アドバイザー連絡会議の開催 年1回以上	・自然保護事例の情報共有および 対応結果の検討	12月
③ [定量-1]	安曇野オオルリジミ保護対策会議 年1回以上	・自然観察会の開催 ・保護対策会議の支援	5/26 3月

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	申し込み受付に「ながの電子申請」を活用し、事務の軽減を図る。
② [定量-1]	無	・自然保護に関する課題があった場合は、今後も意見や情報提供を依頼する。 ・臨時開催の場合は、開催が決まり次第候補日を設定し、日程調整する。
③ [定量-1]	有	オオルリジミ成虫の発生の期間が限られているため、観察会は国営アルプスあつみの公園及び日本自然保護協会の主催に委ね、市は共催・後援の立場で広報等に協力する。
環境審議会 意見		・「ながの電子申請サービス」について周知するとよい。

### No. 1

シンボル種(オオルリジミなど地域の生態系を代表する種)やレッドリスト種などの保護活動を推進する。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	5回・延べ177人 100%・118%	第1回 オオルリジミと植物(国営アルプスあつみの公園)、 第2回 湧水の水生生物(せせらぎ)、第3回 昆虫と植物(押 野山)、第4回 昆虫と植物(黒沢洞自然公園)、第5回 溪 流の水生生物(高川渓谷緑地)	5/26、 6/8 7/6、8/3 8/31
② [定量-1]	2回 実施	公共事業等の自然保護に関する助言を受けた。 ・松くい虫防除のための薬剤散布 ・松本系魚川連絡道路ルート帯案 ・国土強靱化事業 など	5/10、 12/18、 2/3
③ [定量-1]	1回 実施	・国営アルプスあつみの公園、日本自然保護協会と連 携して自然観察会を開催した。	5/26 3/14予定

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C  
定量-2:実施数値/目標数値×100⇒90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~89%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
定性:良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	A	A	5回中4回で定員を超える申し込みがあり、アンケートの結果も良好なこ とから、需要に応える観察会を実施することができた。 ・申し込み受付開始初日で定員に達してしまいうことがあった。 ・申し込み電話が受付開始初日の朝に集中する。
② [定量-1]	A	A	適当な時期に開催することにより、アドバイザーの意見を活かすこ とができた。 臨時開催時の日程調整
③ [定量-1]	A	A	国営アルプスあつみの公園、日本自然保護協会と連携することにより、専門家 が有為で講師を担っていただくなど、充実した観察会となった。 国営アルプスあつみの公園、日本自然保護協会主催事業との棲 み分け
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する
・広報あつみの ・市ホームページ ・安曇野オオルリジミ.net ・安曇野市版レッドデータブック2014			15. 関連組織 ・生物多様性アドバイザー ・安曇野オオルリジミ保護対策会 議



## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	特定外来生物リポーターの募集・情報提供依頼 新規登録者 10 人	・自然観察会での募集案内 ・オオハンゴンソウの駆除研修会を開催	通年 7月
② [定量-2]	駆除啓発に関する広報の実施 情報提供件数 50 件	・市広報紙などによる駆除啓発 ・特定外来生物リポーター通信の発行	6/5 5月・12月
③ [定量-1]	市有地・市道などにおける駆除活動(豊科・三郷・堀金地域) 駆除作業の実施	花フェスタの国営アルプスあづみの公園でのイベント開催前、都市計画課と連携して、オオキケンケイキクの一斉駆除を実施。	5月

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	・アレチウリ駆除研修会に一般市民の参加を募り、リポーター制度についてもPRする。 ・引き続きオオハンゴンソウの駆除研修会を開催する。
② [定量-2]	無	・写真で把握できる場合は現地確認を省略し、事務を迅速化する。 ・チラシの内容を見直し、駆除マニュアルとして活用できるものとし、研修会などに活用する。市民への啓発は、チラシの全戸配布から市広報及びホームページの内容の充実に移行する。
③ [定量-1]	無	・安曇野環境市民ネットワークに加え、リポーターからボランティアを募る。 ・建設事務所等と一緒に行動により、市有地にこだわらずに場所を選定する。

環境審議会意見  
・生育情報の報告にアプリを活用してはどうか。

No. 2  
外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	2人 20%	・自然観察会にてチラシを配布し、募集した。 ・オオハンゴンソウ駆除研修会を開催した。	通年 6/27
② [定量-2]	124件 248%	・駆除啓発チラシを市報へ折り込み、情報発信した。 ・チラシ、ポスターにオオハンゴンソウを追加した。 ・リポーター通信第7号を6月、第8号を12月に発行した。	6/11、 12/12
③ [定量-1]	2回 実施済	・信州花フェスタ2019関連事業として、安曇野環境市民ネットワーク協力のもと、穂高カリーナセンター近郊のオオキケンケイキクを駆除した。 ・長野県主催のアレチウリ駆除研修会を豊科で開催し、会場の駆除活動を実施した。	6/6 6/20

※定量-1:実施した回数 実施しない⇒E 計画より中止した⇒C  
定量-2:実施数/目標数×100⇒90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~89%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
定性:良かった⇒A 多少よかった⇒C 悪かった⇒E

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成状況	審議会の評価	成果 課題
① [定量-2]	D	D	オオハンゴンソウ駆除研修会を実施したことにより、意識が高まり、リポーターからの報告に繋がった。 登録者増加のための取り組み
② [定量-2]	A	A	情報提供に基づき、土地所有者に依頼することにより、駆除に繋がった。 現地確認に時間がかかり、駆除のタイミングを逃してしまっていた。
③ [定量-1]	A	A	・例年繁茂していた懸案箇所を駆除できた。 ・ボランティアを募ることにより、駆除の意識が高まった。 実施場所の選定

### 13. 情報の充実

・特定外来生物駆除チラシ、ポスター  
・広報あづみの  
・市ホームページ

### 14. 学ぶ・体験する

・オオキケンケイキク一斉駆除  
・アレチウリ駆除研修会  
・オオハンゴンソウ駆除研修会

### 15. 関連組織

・区  
・区環境部

# 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境保全担当

## 1. Plan(計画)

目標 [詳細区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	広報等による規制の周知 年1回以上	市民、事業場向けに悪臭防止法に基づき臭気指数規制の内容を周知する。	通年
② [定量-2]	臭気指数規制対象事業場への改善対策指導 臭気指数基準超過事業場 0事業場	臭気低減対策計画の進捗確認と臭気指数規制に基づき規制基準超過事業者をゼロにする。	通年
③ [定量-2]	公害監視員による巡回・監視 週1回/12ヶ月(53週)	・公害監視員からの巡回報告書により、畜産臭気発生と詳細な発生場所(原因)の収集し、該当畜産農家への指導する。	通年

## 4. Action(改善)

目標 [詳細区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	事業場向けへの周知は、各事業団体事務局の協力を得ながら各事業場へ周知していきたい。
② [定量-2]	有	現行の改善計画書提出時期(H28.7月)から、施設の運用等が変わってきていることから、現状にあった施設等の改善計画書の見直し、改善計画に沿って取り組むよう指導する。
③ [定量-2]	無	巡回時において、いかにも通常と不自然と感じられる作業を行っており、悪臭が発生すると考えられる場合は、公害監視員から市担当職員へ連絡が入り、必要に応じて現場で指導を行う。
環境審議会 意見		・目標②、③について、行政での事業者の取り組み方針を具体的に示してほしい。 ・関係する市の部署が縦割りに動くのではなく、横断的に情報共有して取り組んでほしい。

No. 3 悪臭防止法に基づき臭気指数規制の適切な運用を図る。

## 2. Do(実行)

目標 [詳細区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	1回 実施	悪臭が発生しやすい時期(春～夏)に向けて、市広報紙に「悪臭防止」の周知記事を掲載。その他として、市ホームページの内容リニューアルを実施。	3月
② [定量-2]	2事業場 0%	悪臭防止法に基づき臭気指数規制対象事業場に対し、改善指示を行うとともに、毎年7～9月実施の臭気指数測定調査を1事業場、3回(1回/月)実施した。	通年
③ [定量-2]	59週 100%	公害監視員から提出された巡回報告書により、臭気発生状況、発生事業場(原因)を把握し、該当事業場への指導を実施。また、地域内の対策協議会で巡回内容を報告した。	通年

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画しかなかった⇒C  
 定量-2:実施数/目標数×100⇒90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

## 3. Check(点検・評価)

目標 [詳細区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-1]	A	A	・広報紙の掲載時期は、気温が暖かく、農作業等が始まる時期である3月が最適と思われることから、3/4発行号に掲載した。 ・市広報紙には掲載できたが、市内事業場への細かい周知が出来ていないので、周知手段を検討が必要である。
② [定量-2]	E	E	臭気指数規制超過事業場に改善指導を行った。 臭気指数超過事業数は達成できなかった。 事業場責任者としての意識改革が必要であるが難しい面がある。
③ [定量-2]	A	A	公害監視員が農家巡回することで、該当農家へのスピーディーな指摘が出来るようになった。 公害監視員の指摘事項を該当農家へ伝え、改善予防措置へ繋げること。(報告と確認時の時間差)
13. 情報の充実		14. 学ぶ・体験する	15. 関連組織
・市ホームページ		-	・公害監視員 ・臭気モニター

# 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境保全担当

## 1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-1]	広報等による適正な管理・対策の周知 広報等年1回以上	・広報等による周知を行う。	通年
② [定量-1]	空家相談会の開催 相談会・講演会各2回以上	・建築士及び司法書士による空家相談会を行うほか、空家講演会を実施する。	通年
③ [定性]	立ち入り調査に基づく適切な指導 特定空家の認定(1件以上)	・管理不十分空家等への指導及び特定空家の除去	通年

## 4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	空家対策については、空家所有者からの意向調査結果から、市としての支援策を検討し具体的な施策を進める。また、利活用空家情報については多くの情報を空家バンク協議会メンバーへ伝える。
② [定量-1]	無	空家予防講演会などは、年数回実施していく計画であるが、講演内容については参加者からのアンケートをもとに内容を変え検討していく。
③ [定性]	無	空家状況を確認したうえで、引き続き問題解決に向け取り組んでいく。利活用施策と組み合わせ効率の高い仕組みを検討していきたい。
環境審議会意見		・空家のうち、どのようなものが利活用されたか具体的にまとめ、空家所有者を中心に広く市民に周知してはどうか。

## No. 4

管理不十分な空家などへの指導をする。

## 2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	1回 実施	空家実態調査結果をもとに、空家総数、空家簡易危険度等を市広報紙へ掲載し、合わせ空家相談会、予防講演会等の情報を市民向けへ周知した。	通年
② [定量-1]	4回 実施	空家予防講演会を、8月・12月に開催し、講演会後には空家相談会を実施した。また、出前講座を2回実施した。	通年
③ [定性]	2回 実施	特定空家の状況確認、特定空家認定のための事前立ち入りを実施し、必要に応じて空家所有者へ適正な指導を行った。	通年

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画しかなかった⇒C  
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かつた⇒A ぶつた⇒B 悪かつた⇒E

## 3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-1]	A	A	空家実態調査結果にて1,000件以上の空家が確認されたことで、市の空家対策について市広報紙(11月号)で周知した。 市の空家対策では、「利活用」と「適正な管理」という区分で2課が担当しているが、窓口の一本化が必要である。
② [定量-1]	A	A	空家予防講演会を、8月(明科:参加者44人)、12月(穂高:参加者61人)に開催し、講演会後には空家相談会(8人)を実施した。 H30年度と比較し、空家相談会参加者は増加したが、まだまだ空家対策に対する空家所有者の関心度が低い。
③ [定性]	A	A	計画どおり実施し、空家等対策協議会で審査していく。 空家所有者に適正な指導をしたとしても、所有者個々により事情が異なることから課題解決には年月がかかってしまう。
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する
・広報あづみの ・ホームページ ・無料冊子			15. 関連組織 ・講演会 ・相談会 ・出前講座 ・建築士会

# 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当： 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

## 1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-1]	環境部長会議等の開催 環境部長会議は年2回、収集運搬業者との会議は年1回	・情報収集及び共有・展開検査・指導 ・環境活動交付金交付要綱等に基づく交付、支援方法の検討	4.9.2月
② [定量-2]	緑のリサイクル及び木くずサマーリサイクルの受け入れ 処理量144t/年(うち、木くずのサマーリサイクルは30t)	緑のリサイクルは5カ所の排出所を設け、木くずのサマーリサイクルの受け入れは豊科リサイクルセンターで行う。	4～11月 【通年】
③ [定量-2]	生ごみ処理機等購入補助金の交付 交付確定件数100件/年	補助率等、生ごみ処理機は購入費の2分の1、上限額3万円。生ごみ処理容器は購入費の3分の2、1基につき3千円。	通年

## 4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	継続して、各区等の環境活動を支援する。 引き続き、収集運搬業者との会議を行い意見交換を行う。
② [定量-2]	有	受益者負担の割合(現行の搬入料金20円/kg・税別)について検討する。
③ [定量-2]	無	事業所及び一定の条件を満たした場合にも補助の対象になることについて周知を進めていく。
環境審議会 意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標③の補助金が、古い機器の更新でも利用できることをアピールしてほしい。</li> <li>・目標③の補助金について、単価が適当か確認してほしい。</li> <li>・生ごみ処理施設の稼働にあわせ、処理方法や金額などを見直し、よりよい仕組みとなるよう検討を進めてほしい。</li> <li>・生ごみ処理施設がサマーリサイクル施設、災害対応施設であることを、分別方法とあわせて十分周知してほしい。</li> </ul>

No. 5 広報などで分別の徹底を啓発する。

## 2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	各地域環境部長会議 2回 収集運搬業者との会議 1回 実施	環境部の活動内容、市のごみ減量化・資源化事業等の説明と協力依頼。※各地域2回開催 収集運搬業者との会議を3月23日に開催した。	4/16-17・ 18、9/10・ 12 3/23
② [定量-2]	159t 110%	緑のリサイクルは剪定枝をチップ化し市民に無料配布。緑のリサイクルは処理困難な直径8cm超の剪定木や木製家具等を有料で受け入れ、サマーリサイクルする。※緑のリサイクルチップ量90t、木くずのサマーリサイクル受入量68t	4～11月 【通年】
③ [定量-2]	93件 93%	生ごみ処理機48件、生ごみ処理容器30件、破砕機15件、交付件数93件、交付額1,491,400円	通年

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
 定量-2:実施数量/目標数量×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A 悪かった⇒E

## 3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成状況	審議会の評価	成果 課題
① [定量-1]	A	A	遅延なく実施できている。 収集運搬業者との会議が3月の開催となった。
② [定量-2]	A	A	緑のリサイクルは昨年度並みに排出され事業が安定している。 木くずのサマーリサイクルの受入れ量増に伴い、一般財源の負担も増加。
③ [定量-2]	A	A	交付件数について、前年実績(生ごみ処理機53件、生ごみ処理容器24件、破砕機13件、交付件数90件、交付額1,641,200円)と比べ、件数は上まわったが、補助額は下回った。
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する 15. 関連組織
・広報あづみの ・市ホームページ			・区環境部

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当： 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

### 1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	事業系一般廃棄物の減量 852t/年の減	紙類の拠点回収。製紙業者にて溶解・資源化。広報の他に商工会・組合等の団体へ直接、分別・減量化・資源化を要請。	通年
② [定量-1]	収集運搬許可業者等との会議を開催 年1回以上	情報収集及び共有、展開検査、指導。	7.2月
③ [定量-2]	事業系一般廃棄物の資源化 年30t以上	木くずをチップ化し熱原料に使用。	通年

### 4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	増加傾向にある事業系ごみ削減を図るため、厨芥類の減量に向けた生ごみ処理機器等購入補助制度や紙類のリサイクルセンター受入れなどの制度について排出事業者への周知を進めていく。
② [定量-1]	無	現状の意見交換を行い、出された課題への対応などについて話し合いを取ることができた。あわせて、「事業系ごみ減量化・適正処理の手引き」を取集運搬業者に配布し、排出元への周知を依頼。
③ [定量-2]	無	産業廃棄物以外の木くずは有償で受け入れることを周知し、制度の利用促進を進める。
環境審議会 意見		・ごみ減量の見える化をしてほしい。 ・目標②の展開検査や分別指導の結果を今後の取り組みに反映して欲しい。

No. 6 事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。

### 2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	前年比390t/年の増	広報紙・ホームページの他、「家庭用資源物・ごみ出し方の手引き」の冊子により、事業系資源物の受入れを周知。10月に258事業所へごみ減量に関するアンケートを実施。事業系ごみ減量化・適正処理の手引きを作成し、ホームページに掲載。	通年
② [定量-1]	1回 実施	展開検査を1回実施、分別指導と資源化を要請した。	6月26日
③ [定量-2]	0t 0%	一般家庭のみ854件、68,420kgを受入れた。	通年

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画だけが中止した⇒C  
 定量-2:達成数量/目標数量×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつうだった⇒C 悪かった⇒E

### 3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	E	E	広報・啓発を遅延なく実施できている。アンケート結果により実施が把握できた。
② [定量-1]	A	A	遅延なく実施できている。収集運搬業者との会議は3月23日に開催。
③ [定量-2]	E	E	受け入れた木くずの排出元は全て一般家庭であった。
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する 15. 関連組織 ・安曇野市商工会 ・安曇野清掃事業協同組合



## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当： 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

### 1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	リサイクル率の向上 前年実績(16.2%)を上回る	民間回収の増加に伴い行政収集量は減少化だが、「資源物・ごみ出し方の手引き」を基に分別収集とリサイクル事業を周知し、資源化を推進する。	通年
② [定量-2]	ごみ分別アプリの配信と普及促進 インスタール件数は2,000件	ごみ分別促進アプリの維持管理、情報発信、利用者数の把握	通年
③ [定量-2]	環境学習会の開催 環境学習会は20人の参加者	収集した資源物の資源化状況を現地確認、環境学習会の開催	8.9.10月

### 4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	継続して広報活動を実施する。
② [定量-2]	無	継続して広報活動を実施し、食品ロス、ごみを減らすアイデア等を紹介するようしたい。
③ [定量-2]	有	単独開催ではなく、環境フェア等の催しに併せて展示の実施、出前講座等の実施。
環境審議会 意見		・特になし。

### No. 7

分別方法を分かりやすく説明する。

### 2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	元年度実績 15.8% 98%	家庭用「資源物・ごみ出し方の手引き」の改定版を各戸配布の他、出前講座やごみ専用プリアイヤーで周知。	通年
② [定量-2]	1,946件 97%	収集日の変更内容等をプッシュ配信 ※3月末のインスタール件数は1,946件	通年
③ [定量-2]	19人 95%	資源リサイクル講話、空き缶を使った風車づくり、牛乳パックを使った工作他 ※参加者19人(内訳:大人の部8人、子どもの部6人及び保護者5人)	8/12

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画しかなかった⇒C  
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A 悪かった⇒E

### 3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	A	A	市民等に分別収集とリサイクル事業を周知した。 新ごみ処理施設の稼働(令和3年3月)に合わせて排出方法等の見直しが必要である。
② [定量-2]	A	A	遅延なく実施できている。 インスタール件数が微増である。
③ [定量-2]	A	A	参加者から役立った、リサイクルについて再認識した等の感想であった。 子どもの部の参加者数が低調であった。開催方法を見直す必要がある。
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する 15. 関連組織
・広報あづみの ・市ホームページ			・環境学習会 ・岳の会

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

### 1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-1]	エコアクション21年度末評価及び中間評価 環境活動レポートの作成	取組結果のとおりまとめ及び公表、内部監査実施、中間評価	7月 8月 11月
② [定性]	取組対象施設以外における推進 制度の紹介	中小規模事業者省エネ診断事業(長野県)等の紹介	8月
③			

13

No. 8 安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。

### 2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	実施済	環境レポートの作成、ホームページでの公表 内部監査の実施 職員研修 中間評価の実施	8/8 8/20,21 9/10-30 12/20
② [定性]	実施済	中小規模事業者省エネ診断事業(庁内へ勧奨)	8/26
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画しなかった⇒C  
定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
定性:良かった⇒A ぶつうだった⇒C 悪かった⇒E

### 4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	指摘事項に対応するとともに、類似の課題が発生しないよう職員間で情報共有する。
② [定性]	無	稼働時間が長い、エネルギー使用量が多い施設を優先して勧奨していく。
③		

環境審議会 意見	・目標②について、受診がなかった理由を明確にし、メリットを伝えて受診を促してほしい。
-------------	--

### 3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-1]	A	A	内部監査、中間評価、職員研修の実施により、職員の意識向上と環境活動レポートの認知度向上を図った。 内部監査、中間審査において複数の指摘があった。
② [定性]	C	C	指定管理制度導入施設所管課に省エネ診断の受診を勧奨した。 受診施設がなかった。
③			

市ホームページ	13. 情報の充実	14. 学ぶ・体験する	15. 関連組織
対象外			エコアクション21中央事務局・地域事務局

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

### 1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	環境家計簿モニターの募集 新規登録者 10世帯	広報紙、市ホームページにおける募 集案内	12月・ 翌1月
② [定量-2]	電気・ガス等使用量の集計 回収数 70世帯	・半年毎記録票の収集 ・結果のとりまとめ及び広報、市 ホームページへの結果掲載	7月・ 翌1月
③ [定量-1]	事業者向け省エネ対策の推進 講演会の開催	対策制度等の紹介	7月

### 4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	広報紙、ホームページ等を広く活用し、協力者増と市民意識の向上を図っ ていく。
② [定量-2]	無	回答しやすい環境整備・広報により、回収率の向上と事業実施に伴うCO2 排出量の削減につなげる。
③ [定量-1]	無	関連組織と協力し、広く参加を呼びかけていく。 市有施設指定管理業務受託者への案内を検討する。

環境審議会  
意見  
目標③について、市有施設の指定管理者に参加してもらってはどうか。

No. 9

地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。

### 2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	7世帯 70%	広報紙、市ホームページでの前年結果報告、募集中	12/18
② [定量-2]	58世帯 83%	返信用封筒を用いての記録票(前期)の回収 翌年協力依頼とあわせての記録票(後期)の回収	7月 1~2月
③ [定量-1]	実施済 -	エコアクション21セミナー(EA21ガイドライン、事例発表) 長野県、(一社)長野県産業環境保全協会と共催	7/16

※定量-1:実施しない⇒A 実施しない⇒E 計画しなかった⇒C  
定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
定性:良かつた⇒A ぶつかつた⇒C 悪かつた⇒E

### 3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	B	B	冬期の暖房利用により、省エネや家計への意識が高まる時期にあ わせ、広報を行った。 登録世帯増
② [定量-2]	B	B	返信用封筒利用により、58世帯から回収。ながの電子申請サービ スの利用を開始した。 回収率向上。事業実施に伴うCO2排出量の削減。
③ [定量-1]	A	A	参加34人。ガイドラインの改訂などについて情報共有できた。 参加増

### 13. 情報の充実

広報あづみの  
市ホームページ

### 14. 学ぶ・体験する

環境家計簿  
事業者向け環境講座  
安曇野環境フェア

### 15. 関連組織

長野県産業環境保全協会  
安曇野工業会  
安曇野地球温暖化協議会



## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：財産管理課 施設経営担当

### 1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	高効率照明器具の採用 照明のLED化(100%)	新築・改修物件でLED照明の採用	通年
② [定量-2]	省エネ設備の導入 トイレ機器・冷暖房機器(100%)	新築・改修物件で省エネ設備の採用	通年
③ [定量-1]	建物負荷の低減 断熱性能の向上(新築100%)	断熱性能の高い建具・外壁等での 熱負荷の低減	通年

15

No. 10 公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。

### 2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	3件 100%	設計において、LED照明を採用 (こども園改修設計等)	
② [定量-2]	1件(トイレ機器) 4件(冷暖房機器) 100%	設計において節水型便器を採用 (穂高認定こども園改修) 設計において省エネ効果の高いヒートポンプ式EHP(電気式) エアコンを採用(中学校、宿泊施設、美術館改修等)	
③ [定量-1]	1件 100%	設計において実施 (穂高認定こども園改修)	

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画しなかった⇒C  
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かつた⇒A ぶつかつた⇒C 悪かつた⇒E

### 4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	使用状況に応じた機器の選定。
② [定量-2]	無	コストと節水・節電のバランスを常に意識する。
③ [定量-1]	無	コストと効果のバランスを常に意識する。

環境審議会  
意見  
・公共施設の省エネ対応状況や、施設の改廃による費用対効果を確認し、  
投資の回収ができる範囲で効果の高い施設から順次改修等を進めてほしい。

### 3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	A	A	全ての設計でLED照明を採用した。 特になし。
② [定量-2]	A	A	全ての設計で設備を採用した。 特になし。
③ [定量-1]	A	A	省エネ性能を満足した設計・施工ができた。 特になし。

### 13. 情報の充実

竣工パンフレット作成支援  
施設見学の受け入れ支援

### 14. 学ぶ・体験する

15. 関連組織  
対象外

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

### 1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	緑のカーテン講座の実施 年1回	温暖化及び緑のカーテンに関する講座の開催	6月
② [定量-2]	市施設における緑のカーテンの実施 35施設	苗の配布による取組推進	通年
③ [定量-1]	緑のカーテン写真展の実施 年1回	環境フェアにおける緑のカーテン写真展の開催	10月

### 4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	広報紙、ホームページ等を広く活用し、効果と講座開催を周知していく。
② [定量-2]	無	市民利用が多い、窓が大きい、Ea21対象等の条件に合致する施設を優先して勧奨していく。
③ [定量-1]	無	上記(①②)により、参加者・実施施設増とあわせ、応募者増を目指す。
環境審議会 意見		・お金をかけずに省エネや環境保全を進める上で、「緑のカーテン」は良い取り組みだと思ふ。広く一般に実施してもらえようように、地域に根差した施設(公民館等)に声をかけてはどうか。

### No. 11

緑のカーテンの導入を推進する。

### 2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) 結果/目標(%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	実施済 -	身近な生活のなかで取り組める温暖化対策(株環境アセスメントセンター 美馬氏) 緑のカーテン(ゴーヤ)の作り方(NPO法人 あづみ野風土舎)	6/1
② [定量-2]	35施設 100%	庁内インフォメーション及び苗配布により勧奨	4~6月
③ [定量-1]	1回 -	環境フェア中止のため、本庁舎ロビーで開催 鉢上げ・挿し芽相談、苗配布 NPO法人 あづみ野風土舎と共催	11/16~ 19

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画しかなかった⇒C  
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

### 3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-1]	A	A	参加者31人 参加者増
② [定量-2]	A	A	実施35施設 実施施設増
③ [定量-1]	A	A	応募21件、来場者150人以上。NPOとの協働。 応募者増
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する 15. 関連組織
広報あづみの 市ホームページ 安曇野エコプラン.net			・緑のカーテン講座 ・安曇野環境フェア ・NPO法人 あづみ野風土舎

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

### 1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	太陽光発電システム設置への補助 190件	1kwあたり30,000円(4kwを上限)とした補助金の交付	通年
② [定量-2]	太陽熱利用システム設置への補助 3件	設置に要する経費の5分の1(限度額4万円)とした補助金の交付	通年
③ [定量-1]	住宅用太陽光発電の効果検証 アンケート実施	補助効果等の把握のため、補助対象者へのアンケートの実施、集計	5月 8月

### 4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	有	申請書等の記入例等をわかりやすくする。 アンケート結果等を鑑み、補助制度の改廃等を検討する必要がある。
② [定量-2]	有	需用を鑑み、補助制度の改廃等を検討する必要がある。
③ [定量-1]	無	アンケート結果等を鑑み、補助制度の改廃等を検討する必要がある。
環境審議会 意見		・FITの完了に対応し、蓄電池の導入補助などの仕組みを検討してほしい。 また、その仕組みを市民に伝える場を設けてほしい。

No. 12

住宅用太陽光発電の効果を検証する。

### 2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	交付確定145件 76%	広報紙、ホームページでの周知 申請受付	通年
② [定量-2]	交付確定1件 33%	広報紙、ホームページでの周知 申請受付	通年
③ [定量-1]	実施済 -	平成26～28年度の補助金受給者を対象に実施 回答数:257人(回答率:39.7%)	5～10月

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画しなかった⇒C  
定量-2:実施数/目標数×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E  
定性:良かった⇒A 悪かった⇒E

### 3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	B	B	交付確定145件 申請書類の記入誤りが多い。
② [定量-2]	C	C	交付確定1件 申請件数が少ない。
③ [定量-1]	A	A	効果や需要等を把握することができた。 効果や需用等に応じた補助制度の検討。
13. 情報の充実		14. 学ぶ・体験する	15. 関連組織
広報あづみの 市ホームページ		安曇野環境フェア	-

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 林務担当

1. Plan (計画)			
目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	森林整備による薪生産 軽トラク 100台	・薪の生産 ・研修会開催 ・プロジェクト会議の開催	通年
② [定量-2]	薪ボイラーへの薪の提供 薪の提供量 年間400m <sup>3</sup>	・しゃくなげの湯への薪の提供	通年
③			

4. Action (改善)			
目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [定量-2]	有	プロジェクトから立ち上がった薪生産を行う市民活動グループの支援を行う。薪として利用の少ない針葉樹の活用について薪としての利用方法等を記載した冊子等の作成による啓蒙及びPRの必要性を検討。	
② [定量-2]	無	昨年と同様にボイラーの故障により薪の提供が止まっていたが、現在は問題なく薪の出荷を行っている。	
③			
環境審議会 意見		・目標①の実施結果が目標値の70%にとどまった原因を分析し、改善方法を記載すべきではないか。	

No. 13	薪の地産地消率向上を推進する。
--------	-----------------

2. Do (実行)			
目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	70台分 70%	・木質バイオマス利用促進プロジェクトの開催 6回 ・研修会開催 1回 ・薪生産活動37回 ・薪頒布会 4回 ・軽トラ70台分	通年
② [定量-2]	114m <sup>3</sup> 29%	しゃくなげの湯への薪の提供	通年
③			

※定量-1:実績した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
 定量-2:実績数量/目標数量×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

3. Check (点検・評価)			
目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題	
① [定量-2]	B	プロジェクト活動を6回実施 市民活動グループへの支援内容の検討	
② [定量-2]	D	松枯れ材の薪114m <sup>3</sup> を提供 安定供給するための原木確保	
③			
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:里山再生計画推進協議会) ・安曇野産の薪供給能力が十分でない。山林所有者や事業者も含めた連携体制が求められる。	

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 林務担当

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	安曇野材利用促進PJの開催 年5回開催	・安曇野材の情報提供 ・木材供給調整	通年
② [定量-2]	あづみの里山市の開催 参加者数250人	・安曇野材の展示・販売 ・安曇野材のPR	10月
③ [定量-2]	安曇野材の利用促進 安曇野材の年間利用量150㎡	・一般住宅への安曇野材提供	通年

※定量-1:実施した回数 実施しない回数 計画外中止した回数  
 定量-2:実施回数/目標数×100=90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~89%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	プロジェクト会議により、山林から伐り出される安曇野材の情報共有が図られている。
② [定量-2]	無	第4回里山市が開催され、身近に安曇野材に触れる機会と安曇野材の利用促進が図られた。昨年は他のイベントと重なったことにより来場者が減少したが、本年度は開催時期を早めたことにより来場者が増加した。次年度以降も引き続き実施するものとする。新型コロナウイルスの影響で会議による検討が遅れているが、今後新規来場者増に向けた新たな企画やPR方法を検討していく。
③ [定量-2]	無	林内の伐採情報が、ユーザーの建築士まで共有できる体制ができ、安曇野材が以前より利用しやすくなっている。
環境審議会 意見		・目標②について、新規来場者を増やす企画、方法等を検討すべきではないか。

No. 14

里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	6回 120%	・安曇野材利用促進プロジェクトの開催 6回 (安曇野材PR企画の検討、伐採情報の共有について) ・市内カラマツ伐採現場見学会の開催 1回	通年
② [定量-2]	342人 137%	・あづみの里山市の開催	10月5日
③ [定量-2]	160㎡ 107%	・一般住宅などへの安曇野材供給	通年

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	6回のプロジェクト会議を開催 安曇野材PR企画及びび材の供給・需要情報の共有
② [定量-2]	A	あづみの里山市を開催し、342人の集客があった。 固定客が増加してきている。新規来場者を増やすための企画やPR方法の検討
③ [定量-2]	A	160㎡の安曇野材の利用が図られている。 安曇野材の安定供給体制の整備
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:里山再生計画推進協議会) ・安曇野材の活用ニーズがあることの確認が出来た。川上から川下(木材の生産から加工、利用など)の各部門の連携の形が見えてきた。引き継ぎ、連携・強化を図っていく必要がある。

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 林務担当

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な実施内容	予定時期
① [定量-2]	里山学校プロジェクトの開催 年3回開催	プロジェクトの運営検討	通年
② [定量-2]	「さとぶろ。学校」の開催 年8回 延べ受講者100人以上	「さとぶろ。学校」の開催 特別講座の開催	4月 ～ 12月
③			

※定量-1:実施した回数 実施しなかった回数  
定量-2:実施回数/目標回数×100=90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E  
定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	5回のプロジェクト会議の他、「さとぶろ。学校」の運営会議を16回開催した。「さとぶろ。学校」修了後に修了生が集まり森林整備チームを作り活動を始めている。
② [定量-2]	無	第4期の「さとぶろ。学校」が開催され、11人の生徒が受講した。来年度より第2次計画期間に入り、「さとぶろ。学校」卒業生、里山再生計画推進協議会委員等より、新たなスタッフが学校の企画・運営を継続し実施する。
③		
環境審議会 意見		

No. 15

里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぶろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	21回 700%	・里山学校プロジェクト会議開催 5回 ・「さとぶろ。学校」運営会議開催 16回	通年
② [定量-2]	9回・101人 113%・101%	・「さとぶろ。学校」8講開催 ・施業地見学会 1講の開催 ・年9回 延べ受講者数101人	4月 ～ 11月
③			

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	5回のプロジェクト会議の開催 「さとぶろ。学校」カリキュラムや運営方法の検討
② [定量-2]	A	「さとぶろ。学校」9講・施業地見学会1講の開催 運営母体の確立(指定非営利活動法人がプロジェクトスタッフの中心となっているが、新たな事業展開を行う上で中心となるべきスタッフの人材等の発掘、育成が必要。)
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:里山再生計画推進協議会) ・「さとぶろ。学校」の成果は大きく得られているが、長期的に活動を続けていくためには、子どもや若者世代へ技術・知識を伝えていく必要がある。



# 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 林務担当

## 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	松枯損木伐倒くん蒸処理の実施 処理内の松枯損木数1,000本/年以下	・松枯損木伐倒くん蒸処理の実施 ・処理計画区域(三郷・堀金)	通年
② [定量-2]	薬剤散布による防除の実施 散布内の松枯損木数600本/年以下	・薬剤散布による防除 ・実施計画面積 30ha/年	6月～7月
③ [定量-2]	樹幹注入による予防の実施 処理区域内松枯損木10本/年以下	・樹幹注入による予防 ・処理区域5ha(150本/年)	11月～3月

## 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	年間処理本数1,000本は下回っているものの、その年により被害量の変動もあり、被害を抑制するに至っていない。費用対効果については、引き続き東山地区松くい虫被害対策協議会において検証を行っていく。
② [定量-2]	無	計画していた無人ヘリによる薬剤散布は中止となったが、その他は計画通り実施できている。ヘリ散布については、令和2年度中に市の方針について見直しを行っていく。
③ [定量-2]	無	樹幹注入した松の枯損は少なく、注入ができていない松の枯損が進んでいる傾向があるため、早期の注入が必要。
環境審議会 意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・過年度を含め、費用対効果の検証をすべきではないか。</li> <li>・市の方針を明確にするべきではないか。</li> <li>・実施結果の数値について、余白に説明を入れるなどして、市民にも分かるような記述をお願いしたい。</li> </ul>

No. 16	松枯れ対策事業を継続して行う。	実施内容により、区域内の松枯を各指定数量以下に取めることを目標として設定。 原則、少ない方がよい値であるため、 ・上段に、目標に対する割合(結果/目標) ・下段に、定量・2評価の割合(目標/結果)を記載しています。
--------	-----------------	--

## 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	911本(91%) 110%	・松枯損木伐倒くん蒸処理の実施 ・伐倒くん蒸処理 1,548㎡(三郷992㎡・堀金556㎡)	通年
② [定量-2]	1183本(197%) 51%	・無人ヘリ薬剤散布は希少発見のため2回とも中止(計画18ha) ・有人ヘリ散布 5ha実施	6月 7月
③ [定量-2]	19本(190%) 53%	・樹幹注入による予防 松134本、薬剤683本実施 ・処理区域 5ha(101本/年)	12月

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
 定量-2:薬剤数量/目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

## 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	全体の伐倒くん蒸処理1,548㎡を実施した区域内(堀金・三郷)の枯損木の処理本数は911本となっている。 守るべき松林の範囲検討。希少動植物への配慮
② [定量-2]	C	枯損木処理本数は散布中止地1,148本、散布実施地35本 守るべき松林の範囲検討。希少動植物への配慮
③ [定量-2]	C	樹幹注入による予防 松134本、薬剤683本実施 樹幹注入剤の効果期間の適正管理による継続的な実施
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:松くい虫被害対策協議会) ・市内の松枯れ被害は拡大し、被害を食い止めるには至らなかった。 ・薬剤のヘリ散布について、業務内容の見直しを行っていく必要がある。

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 集落支援担当

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	認定農業者数の確保・育成 認定農業者数268人	「人・農地プラン」の策定による担い手の掘り起こし	2月～3月
② [定量-2]	集落営農組織の設立支援 集落営農組織数27組織	集落懇談会への参加	未定
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
 定量-2:実施数/目標数×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	今後、「人・農地プラン」検討会の開催による担い手の掘り起こしを行う。 新規就農者の確保を進め、認定農業者を育成していく。
② [定量-2]	無	「人・農地プラン」の実質化による話などにおいて、集落営農組織の周知等を行う。
③		
環境審議会 意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営者の高齢化による荒廃農地の増加防止のためにも、若手農業経営者の育成を関係部署と連携を密にして進めてほしい。</li> <li>・No.18、19の取り組みとあわせて、プランや組織についての情報発信と高齢化対策を行っていく必要がある。</li> </ul>

No. 17

農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	283人 106%	JA等の聞き取りにより新たな候補者を選定した。年度末に「人・農地プラン」検討会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス対策のため延期とした。	通年
② [定量-2]	27組織 100%	2地区集落営農懇談会の支援をした。	10/1 1/16
③			

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	新たな認定農業者5名を確保した。 農業者の高齢化もすむため継続して確保する必要がある。
② [定量-2]	A	2地区集落懇談会に参加し、課題などの情報共有することができた。 集落営農組織の設立までには、引き続き話し合いが必要。
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称：農業・農村振興計画推進委員会) ・7月下旬資料配布、8月中旬意見取り纏め



## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 糞尿支援担当/農業委員会

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	荒廃農地の解消支援 荒廃農地面積40ha	・荒廃農地の発生・解消状況に関する調査 ・荒廃農地解消支援金(市単)の活用	通年
②			
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
定量-2:実施数量/目標数量×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
定性:良かった⇒A ぶつりだった⇒C 悪かった⇒E

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	引き続き調査を実施し、農地の流動化を進める。 新たな支援制度の活用状況をみて、補助事業の検証をしていく。
②		
③		
環境審議会 意見		・目標②として荒廃農地の解消に向けた具体的な施策を加えるべきである。 ・実施結果の数値が何の値で何を表しているのか分かりやすくしてほしい。

No. 18

荒廃農地対策を行う。

少ない方がよい値であるため、  
・上段に、目標に対する割合(結果/目標)  
・下段に、定量-2評価の割合(目標/結果)  
を記載しています。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) 結果/目標(%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	33ha(83%) 121%	・現地調査を実施し、所有者22名の意向を確認し農地の流動化を進めた。 ・補助事業、解消事業の優良事例等をホームページで紹介。 ・新たな補助制度を策定し、解消事業7件を支援した。	通年
②			
③			

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	補助事業(市単)により荒廃農地2.5ha解消。 荒廃農地解消は、資金がかかることから交付金等がないと進まない。
②		
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会) ・7月下旬資料配布、8月中旬意見取り纏め

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 生産振興担当

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	環境に配慮した安全・安心な農業講座の開設 年1回	直売所生産者や、多面的機能支払交付金事業取組地区の農業者を対象に、環境に配慮した農業に関する講座を開催する。	11月～12月
②			
③			

※定量-1:実施した回数 実施しない⇒E 計画しが中止した⇒C  
定量-2:実施回数/目標回数×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E  
定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	年に1回の開催となってしまったので、次年度は2回の開催ができるようにしたい。
②		
③		
環境審議会 意見		「エコファーマー」の具体的な取り組みを周知し、環境に配慮した農業を伝えていくべき。

No. 19

県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	1回 100%	直売所生産者を対象に、環境に配慮した農業に関する講座を開催	1月30日
②			
③			

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-1]	A	直売所生産者を対象に、環境に配慮した農業に関する講座を開催した。 3月にも環境に配慮した農業の講演会を予定したが、新型コロナウイルスの関係で中止させるを得なかった。
②		
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会) ・7月下旬資料配布、8月中旬意見取り纏め

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課マーケティング担当・学校教育課 教育指導室

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	食農教育(教育ファーム)の推進 小中学校15校(年間)	小中学校での農業体験を実施することで、「食」の根本である農業に関する知識を身につけ、食への感謝の心を育む食農教育を推進する。	通年
②			
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかりた⇒C 悪かった⇒E

No. 20 学校における食農教育を推進する。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) 結果/目標(%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	15校 100%	市内17の小中学校のうち、15校で農業体験の取り組みが行われている。	通年
②			
③			

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	食農教育の意義や効果を周知し、現在の取り組みを維持していく。
②		
③		
環境審議会 意見		・職能教育の受け手の感想をまとめ、次年度の取り組みに生かしてほしい。

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	目標の学校数で実施しており、食と農の大切さを知り感謝の心を育むことにつながる。 未実施の学校への働きかけ。
②		
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会) ・7月下旬資料配布、8月中旬意見取り纏め

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 集落支援担当/耕地林務課 林務担当

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	農作物鳥獣被害対策支援 農作物被害金額7,780千円	・安曇野市野生鳥獣被害防止対策補助金の活用 ・地域に適した対策の研究	通年
②			
③			

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	—	鳥獣対策の市の窓口を統一し、防止計画に基づき捕獲等を進めていく。 引き続き、農家個人による自己対策を推進するとともに、地域と連携した広域対策も検討していく。
②		
③		
環境審議会 意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物被害金額については、前年度の金額で評価する方法もあるので検討願う。</li> <li>・駆除頭数など、具体的な数値を示した方がよい。</li> <li>・駆除・防除にかかわる方の高齢化が懸念されるので、担い手の育成について検討をお願いしたい。</li> </ul>

No. 21 鳥獣被害防止計画を策定(見直し)し、実施する。

少ない方が良い値であるため、  
・上段に、目標に対する割合(結果/目標)  
・下段に、定量・2評価の割合(目標/結果)  
を記載しています。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	8,220千円(106%) 95%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業のホームページ等による周知を実施。</li> <li>・集落での鳥獣対策勉強会の開催支援。</li> <li>・サル用大型捕獲檻の導入。</li> <li>・鳥獣被害防止計画を見直し。</li> </ul>	通年 6/12、19 2月末 3月完了
②			
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
 定量-2:実績数値/目標数値×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	補助金21件交付申請受理。被害防止計画の内容と捕獲数の見直しを図った。 有害鳥獣対策は、駆除と防除、複合的な対策が必要で、根気強く継続実施が必要。
②		
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会) ・7月下旬資料配布、8月中旬意見取り纏め

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 耕地担当

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	取組組織の広域化を進める 4広域組織の発足	農業用水路や農道等の草刈り、泥上げ、砂利道の作業や補修等を支える組織の広域化を図る。	6月
② [定量-2]	田圃風景の保全のため、取組面積の増加を図る 事業取組面積 3480ha	遊休荒廃農地への取り組みや、水路や農道敷の草刈り作業により、安曇野の田圃風景の保全を図る。	5月～11月
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
 定量-2:実施数量/目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつぷだった⇒C 悪かった⇒E

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	目標の結果となった。次年度は、堀金地域の広域組織発足を図る。
② [定量-2]	無	目標は達成されたので、引き続き事業取組面積の拡大を進める。
③		
環境審議会 意見		・No.17、18の取り組みとリンクさせていくべき。 ・目標②について、なぜ安曇野の田圃風景の保全を図るのか、そのためにどのような取り組みが行われているのかを市民に知ってもらい、協力を促していくべき。

No. 22 多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	5広域組織の発足 100%	豊科地域・穂高地域(有明を除く)・三郷地域・明科地域・有明地域の5広域組織が発足する。	6月
② [定量-2]	3488ha 100%	農地維持支払交付金の交付対象面積が3488haとなった。	5月～11月
③			

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	・5広域組織が発足した。 ・広域化により地元活動組織の事務負担軽減を進め、事業の推進を図る。
② [定量-2]	A	・事業取組面積が3488haとなり農地の遊休荒廃化防止、水路・農道の適正管理等地域ぐるみの作業が行われ、田圃風景の保全に繋がった。 ・農振農用地6139haに対する割合が56.8%であり、さらに割合を高める。
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称：農業・農村振興計画推進委員会) ・7月下旬資料配布、8月中旬意見取り纏め

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：都市計画課 公園緑地係

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	2020年から	次年度講座開催に向けた、計画書の作成	10月
②			
③			

28

No. 23

緑の恵みを感じることができる講座を開催する。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	計画作成 実施	次年度講座開催に向けた、計画書作成及び実施計画への計上を行う。	10月
②			
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
 定量-2:実施数値/目標数値×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	計画に基づき事業を執行する。
②		
③		
環境審議会 意見	・特になし	

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-1]	A	計画書作成・実施計画への計上を実施した。
②		
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:(仮称)みどりのまちづくり推進会議) ・2020年度以降に設立予定

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：建築住宅課 建築景観係

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-1]	景観づくり講座の開催 年2回	景観条例、屋外広告物条例の周知に伴う講座の開催	通年
② [定量-1]	屋外広告物定期パトロール 年24回	屋外広告物の定期パトロールにより、未申請案件の把握と適正な指導を行う。	毎月2回
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
 定量-2:実施数量/目標数量×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかりた⇒C 悪かった⇒E

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	景観形成住民協定等の団体に対して講座の活用を働きかける。
② [定量-1]	無	今後もパトロールを継続し、未申請案件の把握と適正指導に努める。
③		
環境審議会 意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標①について、内容をより魅力のあるものにするべき。まちづくりのために誰をターゲットに広報を行うか、対象を絞る必要がある。</li> <li>・他の関連する講座とあわせて開催してはどうか。</li> <li>・景直しを行うのであれば、市が積極的に広報して開催することも検討していただきたい。</li> </ul>

No. 24 景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	0 未実施	講座開催の申込みがなく、本年度は一度も開催していない。	通年
② [定量-1]	18回 実施中	屋外広告物の定期パトロールにより、未申請案件の把握と適正な指導を行った。	毎月2回
③			

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-1]	C	開催申し込み
② [定量-1]	A	定期パトロールを予定どおり実施し、未申請案件の把握と指導を行った。
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:景観審議会) ・特になし



【各分野における基本計画事業】  
**環境基本計画 重点取り組み PDCAシート**

担当：環境課 環境保全担当

1. Plan (計画)			
目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	地下水講座等の開催 年3回以上(延べ200人以上)	地下水講座、子ども体験プログラム、出前授業(児童・生徒等)及び出前講座の実施	通年
② [定量-2]	人為的な地下水涵養 90万m <sup>3</sup> /年	水資源対策協議会における涵養施策の検討	通年
③			

30

No. 25  
 地下水涵養に資する手法等の調査・研究・試行を実施する。

2. Do (実行)			
目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	1回(3人) 33%(2%)	小中学生向け・企業向け出前授業、子ども向けの地下水講座、市民参加型の体験講座を計画し、水の大切さと節水について講座等を開催する。	通年
② [定量-2]	40万m <sup>3</sup> /年 44%	人為的な地下水涵養に向けて、他の課と協力し施策に取り組んだ。その他として、新たな人為的な涵養施策を研究するため関係団体と調整を行った。	通年
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
 定量-2:実施数値/目標数値×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

3. Check (点検・評価)			
目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題	
① [定量-2]	E	市民向けの地下水講座・体験講座を計画したが、台風の影響で中止となりしまい開催することができなかった。	
② [定量-2]	C	新規需要米に伴う人為的な涵養を進めることができた。(昨年比3ha増) 河川の水利権の目的は営農であり、この水利権を地下水涵養目的に利用できない。	
③			
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:水資源対策協議会) ・涵養施策では、水田耕作者との絡みもあり時間がかかるが、理解を得て取り組んでほしい。 ・地下水の量と質と質とあわせイメージ戦略(ブランディング)がより一層重要と思われる。	

4. Action (改善)			
目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [定量-2]	無	・環境フェア等のイベントだけでなく、多くの市民が参加していただけたような企画内容を検討していく。 ・引き続き、児童、生徒だけの出前授業だけでなく、教員を対象にした出前授業に取り組んでいく。	
② [定量-2]	有	引き続き、水資源対策協議会で人為的な地下水涵養事業を研究し、効果検証を行いながら検討していく。国や県などの関係機関と調整を図り進めていきたい。	
③			
環境審議会 意見		・目標②の実施結果である人為的な涵養量40万m <sup>3</sup> /年について、手法や数値の根拠などを分かりやすく記載するべきではないか。	



## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境保全担当

### 1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	雨水貯留槽施設設置補助 15基/年	水の節水を目的に、市民向けへ施設設置補助の周知及び設置数の増を進める。	通年
②			
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C  
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

### 4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	有	市広報紙等を上手に活用し、市民への周知方法を検討していく。
②		
③		
環境審議会 意見		・広報の方法について具体的に記載した方がよい。

No. 26

雨水貯留施設の設置に対する補助を行う。

### 2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	10基 66%	雨水貯留槽施設設置及び補助金の活用を促すため、市民向けに周知した。(市ホームページ、市内資材店へのPRチラシ設置など)	通年
②			
③			

### 3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	B	年度目標までは達成することが出来なかったが、H30年度実績4基と比較すると市内資材店(3店舗)で配布したPRチラシの効果があつたと思われ。 水(地下水)の節水を目的とした、雨水の活用に対して市民の関心度が低い。
②		
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:水資源対策協議会) ・特になし

## 環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：政策経営課 交通政策係

### 1. Plan (計画)

目標	実施内容	具体的な内容	予定時期
[評価区分]	目標(数値目標)		
①	あづみん(デマンド交通、定時定路線)の運行 デマンド交通利用者88,000人/年	あづみん(デマンド交通、定時定路線)の運行	通年
[定量-2]			
②	利便性の向上に向けた検討及び利用促進に向けた啓発活動 ・会報の発行年1回以上 ・広報への掲載年2回以上	利用促進に向けた広報による啓発	通年
[定量-1]			
③			

### 4. Action (改善)

目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
[評価区分]		
①	無	・研修会の開催によりサービスの向上を図り、利用者の更なる増加につなげる。 ・利用者の要望に基づく利便性の向上を研究し、利用環境の改善を図る。
[定量-2]		
②	無	・広報紙への掲載や出前講座、高齢者の集まる場でのチラシの配布など積極的に広報を行い、新規利用者の掘り起こしとともに、利用促進を図る。
[定量-1]		
③		
環境審議会意見		・地域公共交通網整備計画の中間評価に向けた分析などを進めてほしい。

No. 27

デマンド交通「あづみん」、「定時定路線」の運行を行う。

### 2. Do (実行)

目標	実施結果(数値)	具体的な実施内容	期日等
[評価区分]	[結果/目標](%)		
①	デマンド交通利用者 86,681人 99%	・あづみ野エフエムにおいて利用促進広報 5/31 ・あづみん車内へご意見用紙の設置 9/2~ ・市内JR駅舎待合室内へあづみん紹介チラシの設置 10/2~	5・9・10月
[定量-2]			
②	広報掲載 2回 会報発行 1回	・出前講座の実施(実施日:参加者数) 5/23:9人、5/19:30人、9/2:14人 ・広報あづみみのNo.295(7/17発行)、No.296(8/21発行)にて利用促進の広報を実施 ・会報に替わる広報として、あづみんPRチラシをメインユーザーである70歳以上の市民へ送付	5・9月 7・8月 3月下旬
[定量-1]	実施		

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画どおり中止した⇒C  
 定量-2:実施数値/目標数値×100= 90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E  
 定性:良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

### 3. Check (点検・評価)

目標	達成状況	成果
[評価区分]		課題
①	A	利用者が前年に比べて増加した。 H30/86,273人→R1/86,681人 運転手のサービス・マナーの統一と向上が必要。
[定量-2]		
②	A	広報紙による周知と出前講座により、あづみんの利用促進が図られた。 より一層の利用者増のため、メインユーザーである高齢者に向けて積極的にPRが必要。
[定量-1]		
③		
推進組織等意見		(主な推進組織の名称:地域公共交通協議会) ・5月実施時意見なし。

## 5-4 環境指標達成状況（基本計画P 62-63）

環境基本計画で定めた環境指標の達成状況を下表に示します。

個別目標	環境指標	基準年 (2016年度)	測定年 (2017年度)	第1年次 (2018年度)	第2年次 (2019年度)	第3年次 (2020年度)	第4年次 (2021年度)	第5年次 (2022年度)	目標 (2022年度)
1 山岳地をまもる	山岳に関するイベントの参加者数 (登山マナーの普及啓発を含む)	3,800 人/年	4,000 人/年	3,000 人/年	3,500 人/年				4,500 人/年
		84.4%	88.9%	66.7%	77.8%				100.0%
2 里山をまもる	安曇野材の年間利用実績	150 m <sup>3</sup> /年	154 m <sup>3</sup> /年	113 m <sup>3</sup> /年	160 m <sup>3</sup> /年				220 m <sup>3</sup> /年
		68.2%	70.0%	51.4%	72.7%				100.0%
	里山学校の年間受講者数（延べ）	105 人/年	283 人/年	352 人/年	101 人/年				150 人/年
		70.0%	188.7%	234.7%	67.3%				100.0%
3 里地をまもる	認定農業者数	267 経営体	273 経営体	281 経営体	283 経営体				270 経営体
		98.9%	101.1%	104.1%	104.8%				100.0%
	集落営農組織数	27 組織	27 組織	27 組織	27 組織				28 組織
		96.4%	96.4%	96.4%	96.4%				100.0%
4 川や水辺をまもる	多面的機能支援交付金事業活動	51 組織	54 組織	57 組織	56 組織				61 組織 注1)
		83.6%	88.5%	93.4%	91.8%				100.0%
5 生きものをまもる	「生きもの調査」の実施	1 回/5年	-	1 回/5年	-				1 回/5年
		100.0%	#VALUE!	100.0%	#VALUE!				100.0%
	特定外来種駆除活動の参加者数	7,790 人/年	7,228 人/年	6,923 人/年	7,194 人/年				8,000 人/年
	97.4%	90.4%	86.5%	89.9%				100.0%	
6 身近な自然とふれあう	1人当たり都市公園、その他公園の面積（国営・県営公園を除く）	7.9 m <sup>2</sup> /人	7.9 m <sup>2</sup> /人	7.9 m <sup>2</sup> /人	7.9 m <sup>2</sup> /人				9.2 m <sup>2</sup> /人 注2)
		85.9%	85.9%	85.9%	85.9%				100.0%
	緑の恵みを感じることができる講座の開催	2 回/年	4 回/年	4 回/年	4 回/年				4 回/年
	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%				100.0%	
7 景観や歴史・文化を大切に	景観づくり講座開催回数	0 回/年	1 回/年	1 回/年	0 回/年				5 回/年
		0.0%	20.0%	20.0%	0.0%				100.0%
8 豊富できれいな水の環境をまもる	上水道普及率	99.0%	99.0%	99.1%	99.8%				100.0% 注2)
		99.0%	99.0%	99.1%	99.8%				100.0%
	水洗化率	81.9%	84.0%	84.6%	85.3%				88.9%
		92.1%	94.5%	95.2%	96.0%				100.0%
	人為的な地下水涵養量 (新規需要米作付面積)	112.8 万m <sup>3</sup> /年	112.8 万m <sup>3</sup> /年	113.1 万m <sup>3</sup> /年	116.0 万m <sup>3</sup> /年				180.0 万m <sup>3</sup> /年
	62.7%	62.7%	62.8%	64.4%				100.0%	
9 きれいな空気と静かな環境をまもる	窒素酸化物・ダイオキシン類濃度測定値	基準値以下 注3)	基準値以下	基準値以下	基準値以下				基準値以下 注3)
		-	-	-	-				-
	自動車交通騒音測定値基準値超過地点	1 地点	1 地点	1 地点	1 地点				0 地点
		-	-	-	-				-
10 公害・化学物質などの問題をなくす	苦情件数	265 件/年	254 件/年	179 件/年	143 件/年				220 件/年
		120.5%	115.5%	81.4%	65.0%				100.0%
11 ごみを少なくする	市民1日1人当たりのごみ排出量	787 g/人・年	785 g/人・年	796 g/人・年	790 g/人・年				736 g/人・年
		106.9%	106.7%	108.2%	107.3%				100.0%
	資源物排出量	3,354 t/年	2,995 t/年	2,793 t/年	2,648 t/年				3,142 t/年
	106.7%	95.3%	88.9%	84.3%				100.0%	
	事業系可燃ごみ排出量	10,859 t/年	11,088 t/年	11,162 t/年	11,549 t/年				7,451 t/年 注5)
	145.7%	148.8%	149.8%	155.0%				100.0%	
12 地球温暖化に対応する	安曇野地域の温室効果ガス排出量 <sup>注4)</sup>	77.3 万t-CO <sub>2</sub> /年	77.8 万t-CO <sub>2</sub> /年	2021年に推計	2022年に推計				71.5 万t-CO <sub>2</sub> /年 注5)
		108.1%	108.8%	#VALUE!	#VALUE!				100.0%
	2015（平成27）年度基準年に対する市の事務事業における温室効果ガス削減率	-14.69%	-9.44%	-15.64%	-18.06%				-4.90% 注5)
		299.8%	192.7%	319.2%	368.6%				100.0%
	「あづみん」（テマド交通）の利用者数	85,365 人/年	85,123 人/年	86,273 人/年	86,681 人/年				88,000 人/年
	97.0%	96.7%	98.0%	98.5%				100.0%	
13 環境情報を充実させる	安曇野エコプラン.netアクセス数	-	1,030 件/年	2,080 件/年	3,772 件/年				3,500 件/年
		-	29.4%	59.4%	107.8%				100.0%
14 環境について学ぶ体験する	安曇野市環境市民ネットワークによる環境学習プログラムの提供数	24 件/年	24 件/年	24 件/年	24 件/年				30 件/年
		80.0%	80.0%	80.0%	80.0%				100.0%
	安曇野環境フェア来場者数	1,900 人/年	1,700 人/年	1,800 人/年	台風により中止				2,100 人/年
		90.5%	81.0%	85.7%	#VALUE!				100.0%
	信州型自然保育 <sup>注6)</sup> を受ける児童の割合	52.0 %/年	53.9 %/年	54.4 %/年	57.9 %/年				54.0 %/年
	96.3%	99.8%	100.7%	107.2%				100.0%	
	行動計画に基づき環境学習の開催数	9 回/年	10 回/年	10 回/年	13 回/年				10 回/年
	90.0%	100.0%	100.0%	130.0%				100.0%	
15 環境保全活動を活発にする	環境美化活動団体数（累計）	217 団体/年	215 団体/年	307 団体/年	346 団体/年				277 団体/年
		78.3%	77.6%	110.8%	124.9%				100.0%
	環境美化活動参加者数（累計）	34,187 人/年	31,894 人/年	42,538 人/年	42,422 人/年				36,000 人/年
	95.0%	88.6%	118.2%	117.8%				100.0%	

注1) 個別計画の2021年度目標値

注2) 個別計画の2026年度目標値

注3) 窒素酸化物濃度基準値：0.04～0.06ppm範囲内又はそれ以下（日平均値）

ダイオキシン類濃度基準値：0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下（年平均値）

注4) 郵道府県別エネルギー消費統計の推計方法変更等に伴い、過年度分に通って修正。今後も推計方法の変更により、基準・目標年度の値も含め修正の場合がある。

注5) 個別目標の2020年度目標値

注6) 「信州型自然保育」の詳細は、第2次安曇野市環境基本計画97ページのコラムを参照。

## 5-5 参加と協働

基本計画に定めた施策のうち、個別目標13から15にかかる施策について、各担当が取り組みを進めました。ここでは、環境情報の充実や環境学習の推進、環境保全活動の活発のために環境課が行った取り組みのうち、参加と協働という視点で特徴的だった事業についてのみ記述します。

### (1) 安曇野環境フェア2019（※台風19号の影響により中止）

#### 【開催概要】

- |          |                                      |
|----------|--------------------------------------|
| ア) コンセプト | 豊かで美しい自然環境を守り、快適な生活環境を次代につなぐまちをつくろう！ |
| イ) テーマ   | あづみ野に生きるものたち                         |
| ウ) 主催    | 安曇野市、安曇野環境フェア 2019 実行委員会             |
| エ) 共催    | 安曇野環境市民ネットワーク                        |
| オ) 日時    | 10月12日（土）9時30分～16時、13日（日）9時～16時      |
| カ) 会場    | 安曇野市堀金総合体育館（安曇野市堀金烏川 2662）           |
| キ) 来場者数  | 1日目：__人　2日目：__人　計__人（※中止）            |

### (2) 46億年・地球の道in安曇野

#### 【開催概要】

- |          |  |
|----------|--|
| ア) 内容    | 地球の歴史を 460mの距離に置き換え、壮大な物語や生命の進化を学び、地球環境に多大な影響を与えた人類のあり方を考える。 |
| イ) 主催    | 安曇野市   |
| ウ) 共催/協力 | 安曇野環境市民ネットワーク/アルプスあづみの公園管理センター                               |
| エ) 日時    | 7月13日（土）9時30分～11時、15時～16時30分                                 |
| オ) 会場    | 国営アルプスあづみの公園 堀金・穂高地区   |
| カ) 参加者数  | 34人  |

## 6 その他

### 6-1 安曇野市環境基本計画庁内調整会議（安曇野市環境基本計画庁内調整会議設置要綱）

環境基本計画庁内調整会議において、基本計画及び行動計画の進捗状況の確認と課題の検討を行うとともに、各種施策の調整を行いました。また、実施計画書及び年次報告書の原案や、これまでの取り組みの点検・評価の結果、関連計画の改定を踏まえて行動計画の改訂案を作成し、審議会への報告を行いました。

### 6-2 安曇野市生物多様性アドバイザー（安曇野市生物多様性アドバイザー設置要綱）

安曇野市の豊かな自然環境や動植物種の多様性を将来にわたり維持していくことを目的に、安曇野市版レッドデータブック等で著された希少生物の保護及び重要な自然環境の保全等に関し、専門家の意見を聴くため、連絡会議を3回開催したほか、必要に応じて意見照会を行いました。

### 6-3 安曇野環境市民ネットワーク

#### 6-3-1 概要と事業内容

安曇野環境市民ネットワーク（以下「ネットワーク」という）は、市内または各地域において環境保全のための活動を行っている団体や個人が集まり、協働や連絡・調整を行うことによって、より良い安曇野の環境を創出することを目的として平成21年9月に発足しました。

事業内容は、大きく分けて①コミュニケーション、②環境学習の企画と実施、③環境基本計画および行動計画の実施、④普及啓発の4つです。

令和元年度の組織体制及び事業内容は次のとおりです。

#### （1）組織体制

- 1) 会員構成 : 28団体、3個人
- 2) 役員構成 : 座長 1人、副座長 1人、運営委員 11人、会計 1人、監事 1人
- 3) 事務局 : 安曇野市市民生活部環境課

#### （2）事業内容

- 1) 主催事業
- 1) -①運営委員会、総会、環境講座「環カフェ」

日付	会議等名称	内容
2019(令和元)年 6月1日	第1回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緑のカーテン講座」 <ul style="list-style-type: none"> <li>①身近な生活のなかで取り組める温暖化対策</li> <li>②緑のカーテンの作り方とゴーヤの育て方</li> </ul> </li> <li>・講師等：①(株)環境アセスメントセンター 美馬 純一 氏 ：②NPO法人 あづみ野風土舎 の皆様</li> <li>・参加者：31人</li> </ul>
2020(令和2)年 1月30日	第2回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現在の気候に何が起きているのか。また、私たちはどのように適応していくか。」</li> <li>・講師等：信州気候変動適応センター 浜田 崇 氏</li> <li>・参加者：38人</li> </ul>
1月30日	運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度総会について</li> </ul>
3月10日	第3回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生物多様性を守ることの大切さについて」</li> <li>・講師等：長野県環境保全研究所 須賀 丈 氏</li> <li>※新型コロナウイルスの影響により中止</li> </ul>
3月10日	総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業報告及び収支決算</li> <li>・令和2年度事業計画及び収支予算</li> <li>・役員改選</li> </ul>

#### 1) -②環境学習プログラムの推進事業

『安曇野環境市民ネットワーク 団体活動紹介・環境学習プログラム』パンフレットを作成・配布しました。計1,000部を印刷して、環カフェで配布したほか、市内小・中学校及び市内公民館（中央・分館）へ配布・設置しました。

#### 1) -③登録団体間の情報交換及び情報発信事業

登録団体の開催するイベントや環境関連の様々な情報について、メーリングリスト（10回）やニュースレター（安曇野環境市民ネットワーク通信、1回）、Webページ「[安曇野エコプラン.net](http://anatomyeco.planet.net)」（10回）上での情報発信などを行いました。

また、主催・共催事業の開催にあたっては広報紙で周知したほか、必要に応じてチラシを作成し、公共施設及び市内小・中学校等に配布しました。

#### 2) 共催事業

##### 2) -①安曇野環境フェア2019（※台風19号の影響により中止）

ア) 安曇野環境フェア実行委員として協力

イ) 出展・発表

##### 2) -②46億年地球の道in安曇野

ア) 参加者募集及び当日運営への協力

### 3) 後援事業

#### 3) -① ネットワーク登録団体等の関連イベントの後援及び情報発信

ネットワーク登録団体の関連イベントについて後援を行ったほか、メーリングリスト、Web ページ「安曇野エコプラン.net」上での情報発信を行いました。

### 4) 協力事業

#### 4) -① 学校や市民団体等からの講師依頼対応（環境学習資源の有効活用に係わるコーディネート）

明科中学校の総合的な学習の時間「ホームタウン明科」自然観察講座、アルプスあづみの公園管理センターが主催する「さとやま楽校」の一部講座について、ネットワーク加入団体が講師を務め、地域の学生や住民への環境学習推進にご尽力いただきました。加えて、「信州花フェスタ 2019 連携企画 特定外来生物(オオキンケイギク)駆除プロジェクト」にご参加いただきました。

#### 2019（令和元）年度 明科中学校の総合的な学習の時間「ホームタウン明科」

日付	内容	担当者
2019（令和元）年 5月27日	開講式	横田座長 ほか
6月3日	安曇野の自然と生物多様性保全	環境課 環境政策係
6月17日	ツキノワグマの生態と遭遇時の対処法	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会
6月24日	マイ箸づくり・エコグッズづくり	マイ箸づくりサポートボランティア 安曇野市消費者の会
7月12日	46億年・地球の道	環境課 環境政策係（外部講師：NPO 法人 C・C・C 富良野自然塾）
7月22日	長峰山での昆虫と植物観察	三郷昆虫クラブ
9月2日	中学生の考える地球温暖化と SDGs ワークショップ	安曇野地球温暖化協議会
9月9日	「ぬかくど」炊飯体験	NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団
9月24日	積木ワークショップ	安曇野建築三会 長野県建築士会安曇野支部
10月15日	閉講式	横田座長 ほか

2019（令和元）年度 さとやま楽校

日付	内容	主催/講師等
2019（令和元）年 5月11日、12日	田んぼの教室 田植え 参加者：延べ102人	国営アルプスあづみの公園/ みのむしの会/コープながの
8月3日	田んぼの教室 田んぼの生きもの調査 参加者：18人	国営アルプスあづみ公園/ みのむしの会、コープながの
8月4日	やまこの教室 夜の里山観察会&やまこ羽化観察 参加者：46人	安曇野クラフトゲート匠の杜 /やまこの学校/三郷昆虫クラブ
9月14日、15日	田んぼの教室 稲刈り&はぜかけ 参加者：延べ83人	国営アルプスあづみの公園/ みのむしの会/コープながの

信州花フェスタ2019連携企画 特定外来生物（オオキンケイギク）駆除プロジェクト

【開催概要】

- ア) 内容 穂高クリーンセンター付近をはじめ、市内3箇所でオオキンケイギクの駆除を実施し、約1トンのオオキンケイギクを駆除しました。
- イ) 主催 信州花フェスタ安曇野市実行委員会
- ウ) 日時 6月6日（木） 午前9時～正午
- エ) 場所 穂高クリーンセンター付近、安曇野IC付近、広域農道
- オ) 参加者 34人（うち、ネットワークからの参加者4人）

4) -②安曇野市環境審議会、環境基本計画庁内調整会議との連携・協力

安曇野市環境基本計画・環境行動計画との連携、協力として、安曇野市版環境家計簿、特定外来生物リポーター事業等へ参加しました。

また、審議会にネットワーク加入団体の年度内活動状況について報告しました。

5) 参加団体による活動

ネットワーク登録団体間や環境審議会との情報共有を目的として活動状況アンケートを実施したところ、全28団体のうち14団体より回答がありました。アンケートにより把握できた活動のみになりますが、この一年間に市内で行われた環境に関するイベント、講座、ボランティア活動等の件数は、94件にのびりました。（行政がかかわるものを除く。）

また、イベント、講座等の実施にあたり、運営資金の確保、人員の確保、参加者の募集に課題を感じ、他の環境活動団体や審議会に対し、事業の広報への協力やイベントへの参加、課題等を共有する団体との共催を期待するという回答が比較的多くなりました。

なお、アンケート結果の詳細を参考資料として次ページ以降に示します。



## 7 参考資料

### ■令和元年度 安曇野環境市民ネットワーク 活動アンケート結果

ネットワーク登録団体間や、環境審議会との情報共有を目的として、登録団体の令和元年度における活動状況についてアンケートを依頼したところ、全28団体のうち、14団体より回答いただきました。（アンケート実施期間：2020（令和2）年1月6日～2月6日）

#### ○報告を受けた団体一覧

活動分野	団体名
全般	安曇野工業会
全般	安曇野市商工会
地球温暖化	安曇野地球温暖化協議会
環境	NPO法人 あづみ野風土舎
景観、農林	NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団
景観	アルプス花街道実行委員会
景観	潮沢ロマンの会
自然、環境	烏川溪谷緑地市民会議
景観	三角島ふるさとの森プロジェクト
自然、生活	生活協同組合コープながの
自然	田淵行男記念館こども自然観察教室「むしの会」
地球温暖化	マイ箸づくりサポートボランティア
自然、景観	NPO法人 森倶楽部21
自然	野生生物資料情報室

(50音順)

アンケート回答がありました団体の年間活動記録について以下に掲載します。

<b>団体名</b>	安曇野工業会
<b>記入者名</b>	環境安全部会長 桜井 克治

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
6月実施	みどりのカーテン依頼(苗の配付)	会員企業依頼	9社
7月23日	環境に係る経営指導	会員企業訪問	
12月19日	企業経営に係るSDGs研修会	大黒屋会議室	13人
1月、2月	環境に係る経営指導を実施予定		

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : 企業経営に係るSDGs研修会

理 由 : 世界がグローバル化している現在「SDGs」の考え方は、今後、企業が生産活動を継続する中で、遵守する必要があるため。

<b>団体名</b>	安曇野市商工会
<b>記入者名</b>	金森

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
5月30日	市商工会青年部クリーンキャンペーン	三郷文化公園	20人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人 : \_\_\_\_\_

理 由 : \_\_\_\_\_

<b>団体名</b>	安曇野地球温暖化協議会
<b>記入者名</b>	樋口 嘉一

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
<b>【講演・講座・イベント】</b>			
9月2日	ホームタウン明科の「自然観察講座」にて「地球温暖化の最新情報／未来の地球と私達のくらしとSDGsについて」を講演	安曇野市立明科中学校	16人
10月12日 13日	「安曇野環境フェア2019」は台風19号の接近で中止	安曇野市堀金総合体育館	—
11月29日 12月4, 8日	環境省家庭エコ診断制度の「うちエコ診断」を5件実施	長野市 安曇野市	5人
12月19日	安曇野工業会にて「企業経営に係る『SDGs』研修会」を講演	大黒屋会議室	12人
2月29日	安曇野市市民活動フェスタの出展及びステージ発表（予定）	安曇野市役所本庁舎	50～100人 (想定)
<b>【交流・会議・活動等】</b>			
4月22日 7月10日 1月27日 3月17日	安曇野市の「環境審議会」に出席	安曇野市役所本庁舎	32人
6月1, 6日 1月30日	安曇野環境市民ネットワークの活動に参加・出席（緑のカーテン講座、外来生物・オオキンケイギク駆除、気候変動の講座）	安曇野市役所本庁舎等	20～50人
6月2日 10月3日 12月2日	「信州環境カレッジ」交流会・公開座談会に出席	小諸市、松本市、塩尻市	各30～60人
11月1, 11日	長野県環境保全協会中信支部の「エコ施設見学会、総会・講演会」に出席	パナソニックエコシステムズ、松本商工会館	26人、50人
12月26日	安曇野市環境課と安曇野地球温暖化協議会の情報交換会	安曇野市役所本庁舎	5人
<b>【研修・研鑽等】</b>			
6月18日	第9期長野県地球温暖化防止活動推進員委嘱式及び研修会	諏訪合同庁舎	50人

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
7月28日	信州環境フェア視察	ビックハット	—
8月1日	再エネセミナー（次世代森林産業展2019）に出席	若里市民文化ホール	80人
8月19日	令和元年度 地球温暖化対策・自然エネルギー研究会に出席	松築建設会館	40人
11月14日	令和元年度長野県地球温暖化防止活動推進員研修会に出席	松本商工会館	40人
1月21日	家庭の省エネアドバイザースキルアップ研修会「家庭での省エネ・節電の進め方」に出席	塩尻市市民交流センター	20人
1月26日	長野県の「住宅の省エネ支援セミナー」に出席	信毎メディアガーデン	—

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座人：ホームタウン明科の「自然観察講座」にて「地球温暖化の最新情報/未来の地球と私達の暮らしとSDGsについて」を講演

理由：SDGsの内容がやや難しかったが関心をもって熱心に取り組みました。環境教育は若い世代から大切と考えます。

団体名	NPO法人 あづみ野風土舎
記入者名	今泉 一

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
4月27日	緑のカーテン広げよう講座	碓山公園研成ホール	100人
6月1日	「緑のカーテン」（ゴーヤ）の育て方講座（環境課主催）	安曇野市役所4階大会議室	30人
11月16日 ～19日	緑のカーテン写真展（環境課共催）	安曇野市役所本庁舎1階東ロビー	200人
年8回	柏矢町三角地植栽	柏矢町三角地	延べ50人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座人：「緑のカーテン広げよう」講座

理由：長年にわたる琉球朝顔の普及活動により、知名度が上がったこと。  
市民の関心の高さ。

<b>団体名</b>	NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団
<b>記入者名</b>	宮崎 崇徳

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
4月14日	第28回ふるさとウォッチングin安曇野	三郷野沢地区	65人
9月25日 ～11月20日	さとやま楽校案内人の教室	国営アルプス あづみの公園	12人
10月8日	第29回ふるさとウォッチングin安曇野	明科荻原地区	45人
10月27日 ～11月24日	安曇野さんぽ2019秋	市内	23人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人：ふるさとウォッチングin安曇野

理由：ゆっくりと歩きながら地域の歴史文化を学び、「ぬかくど」で炊いたおむすびを食べて参加者と交流ができる。

<b>団体名</b>	アルプス花街道実行委員会
<b>記入者名</b>	等々力 秀和・(事務局補佐) 地域づくり課 坂口 友理

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
5月25日	アルプス花街道 一斉定植	市内9か所他	1,360人
8月8日	花壇の巡視	同上	7人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人： \_\_\_\_\_

理由： \_\_\_\_\_

<b>団体名</b>	潮沢ロマンの会
<b>記入者名</b>	宝 喜吉

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
3月21日	柏尾に残る藁人形祭りとな九鬼を巡る	柏尾 名九鬼	22人
4月21日	まちの境界の不思議その1 二見台	名九鬼	11人
5月23日	明科の魅力再発見講座 篠ノ井線と廃線敷の楽しみ方	明科公民館	30人
5月25日	まちの境界の不思議その2 二見台	名九鬼	7人
7月4日	潮沢・名九鬼に伝え残る平家にまつわる物語	明科高校	1年生全員
9月20日	明科の魅力再発見講座 善光寺街道と善光寺裏街道	明科公民館	30人
9月27日	明北小、明南小合同廃線敷学習	廃線敷	48人
11月2日 ～4日	明科公民館文化祭 ビデオ展示	明科公民館	
11月8日	潮沢区（社協）潮沢の紹介 第一回	潮沢公民館	40人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人： 潮沢区（社協）潮沢の紹介 第一回

理 由： 地元の歴史、文化等を継続して講座することに反響があった。

<b>団体名</b>	烏川溪谷緑地市民会議
<b>記入者名</b>	内田 利幸

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
4月～6月	第36回全国都市緑化信州フェア 信州花フェスタ2019	信州スカイパーク、烏川溪谷緑地、国営アルプスあづみの公園	

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
4月～6月	からすの八景、写真パネル展示、烏川のいきもの展示、溪谷緑地の野草	森林エリア 森の家ロビー	
4月20日	第123回からすの学校 オオルリ観察会	水辺エリア	13人
4月13日～	カタクリ・ウィークス カタクリ観察会	森林エリア	2人
4月20日	カタクリ観察会	森林エリア	14人
4月20日 ～5月5日	オオルリ・ウィークス オオルリ観察会	水辺エリア	11人
4月27日 28日	全日本トレイルオリエンテーリング選手権大会	水辺エリア	139人
4月30日	第123回からすの学校 オオルリ観察会	水辺エリア	15人
5月9日	植物の楽しみ方と目からうろこの写真術	水辺エリア	20人
5月11日	第124回からすの学校 烏川溪谷緑地の環境を森林から学ぼう	森林エリア	10人
5月12日	野外を楽しむミニキャンプ体験 (たちかまどで焼きマシュマロ)	水辺エリア	40人
5月18日	第125回からすの学校 ネイチャーウォーキング 林道歩き自然観察	森林エリア	15人
6月1日	森林エリア植物観察会	森林エリア	17人
6月2日	第126回からすの学校 森林療法 森林での活動と森づくり	森林エリア	中止
6月4日	植物の楽しみ方と目からうろこの写真術	水辺エリア	17人
7月7日	昆虫観察会 昆虫の目から見た棲みよい森づくり	森林エリア	12人
8月10日	第127回からすの学校 ツキノワグマ学習会	森林エリア	12人
8月20日 23日	水生生物観察	水辺エリア	0人
9月8日	第128回からすの学校 植物の楽しみ方と目からうろこの写真術	水辺エリア	9人
10月5日	ノルディックウォーキングを楽しもう 烏川溪谷緑地⇔あづみの公園	水辺エリア あづみの公園	6人
10月19日	樹木医が案内する秋の樹木観察	水辺エリア	8人



日付	イベント・講座人	会場	参加人数
11月10日	第129回からすの学校 地衣類と菌類（特にチャワンダケの仲間）の観察	水辺エリア	26人
1月12日	第130回からすの学校 ふくろう学習会	水辺エリア	30人
1月25日	新月伐採 伐倒体験 斧入れの儀	森林エリア	
1月25日	第131回からすの学校 アニマル・トラッキング学習会	水辺エリア	
2月15日	スノーシュー体験	水辺エリア	
3月22日	しいたけ原木コマ打ち体験と花炭づくり	水辺エリア	予定

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人： 地衣類と菌類（特にチャワンダケ）観察会

理由：身近に生息していることはわかっているにもかかわらず実はよくわからない生き物にスポットを当て、専門の研究者を招き、最新の研究成果を生で聞けるとともに現地と一緒に観察し、歩くことができる。元の歴史、文化等を継続して講座することに反響があった。

団体名	三角島ふるさとの森プロジェクト
記入者名	場々 洋介

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
8月4日	三角島自然観察会	三角島	21人
11月4日	三角島植樹祭	三角島	10人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人： 三角島自然観察会

理由：三角島内のバイパス(川)は安全で水あそびができるため好評でした。

<b>団体名</b>	生活協同組合 コープながの
<b>記入者名</b>	総合企画室 召田 洋一

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
5月11日	田植え体験	あづみの公園	16人
5月26日	国際協力田田植え	J Aあづみ	26人
7月7日	長峰山トレッキング	長峰山	26人
7月27日	川の生きもの調査	犀川	45人
8月18日	竹のクラフト	長峰山	19人
12月1日	国際協力田米発送式	J Aあづみ	14人
12月7日	正月飾り講習会	あづみの公園	28人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人：国際協力田米発送式

理由：J Aあづみの遊休農地解消の取り組みと、飢餓に苦しむアフリカのマリ共和国へのJ Aによる国際貢献活動に参加できたこと

<b>団体名</b>	田淵行男記念館こども自然観察教室「むしの会」
<b>記入者名</b>	伊藤

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
4月20日	開講式、オリエンテーション、 田淵行男記念館周辺で観察会	豊科近代美術館、 田淵行男記念館	19人
5月11日	初夏の昆虫採集	光城山	18人
6月1日	オオルリシジミの観察	国営アルプス あづみの公園 (堀金・穂高)	20人
7月13日	夏の昆虫観察	県営烏川溪谷 緑地	19人

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
8月3日	ライトトラップによる夜の昆虫観察	光城山	29人
9月14日	秋の昆虫観察	長峰山	12人
11月9日	化石の採掘体験	松本市四賀	13人
12月14日	冬鳥と越冬幼虫の観察会	松本市 アルプス公園	16人
2月9日	講演会、修了式	三郷公民館	予定

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人：ライトトラップによる夜の昆虫観察

理由：通常行う観察会は昼間ですが、これは夏休み中に行う夜の行事ということで、毎年子供たちに人気があります。

<b>団体名</b>	マイ箸づくりサポートボランティア
<b>記入者名</b>	矢口 今朝雄

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
6月24日	自然観察講座	明科中学校	11人
7月17日	社協健康体操クラブ	社協穂高支所	20人
8月20日	朗人大学	社協豊科支所	18人
11月12日	社協健康体操クラブ	社協明科 あいらす	20人
2月25日	社協健康体操クラブ	社協三郷支所	20人 (予定)
3月17日	NPO法人 からだ堂	からだ堂	15人 (予定)

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人：マイ箸づくり

理由：桧の端材を利用。マイ箸で温暖化防止 緑を守る大切さを自覚させる

<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 森倶楽部21
<b>記入者名</b>	森 芳昭

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
4月28日	ミニ自然観察会	長峰山	5人
5月13日	明科高校総合的な探求の時間遠足事前学習	明科高校	約160人
5月26日	信州環境カレッジ「自然観察in長峰山～観察」	長峰山	20人
5月31日	明科高校総合的な探求の時間遠足サポート	長峰山	約160人
6月17日	信州環境カレッジ「自然観察in長峰山～染色」	長峰山	6人
6月23日	ミニ自然観察会	長峰山	6人
7月7日	森の里親促進事業「生き物ウォッチング」	長峰山	39人
7月28日	ミニ自然観察会	長峰山	4人
8月18日	森の里親促進事業「ミニスタードーム作り」	長峰山	39人
8月25日	ミニ自然観察会	長峰山	6人
9月1日	信州環境カレッジ「自然観察in長峰山」	長峰山	26人
9月22日	ミニ自然観察会	長峰山	4人
10月27日	ミニ自然観察会	長峰山	3人
11月24日	ミニ自然観察会	長峰山	2人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人： 森の里親促進事業「ミニスタードーム作り」

理由： 親子6家族19名の参加があった。里山の竹林を整備して出た竹を利用して、スタードームを作成してもらった。家族が協力して、試行錯誤をしながら楽しんで作っていた。

<b>団体名</b>	野生生物資料情報室
<b>記入者名</b>	植松 晃岳

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
4月20日	オオルリ観察会（座学と観察会）	烏川溪谷緑地	27人
4月23日	野鳥観察会（穂高公民館主催）	松尾寺	18人
6月22、23日	ライチョウ観察会（座学と観察会）	燕岳・燕山荘	13人
6月29、30日	ライチョウ観察会（座学と観察会）	燕岳・燕山荘	15人
1月25日 （予定）	動物の足跡観察会 <sup>＊</sup> （座学と観察会）	烏川溪谷緑地	30人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

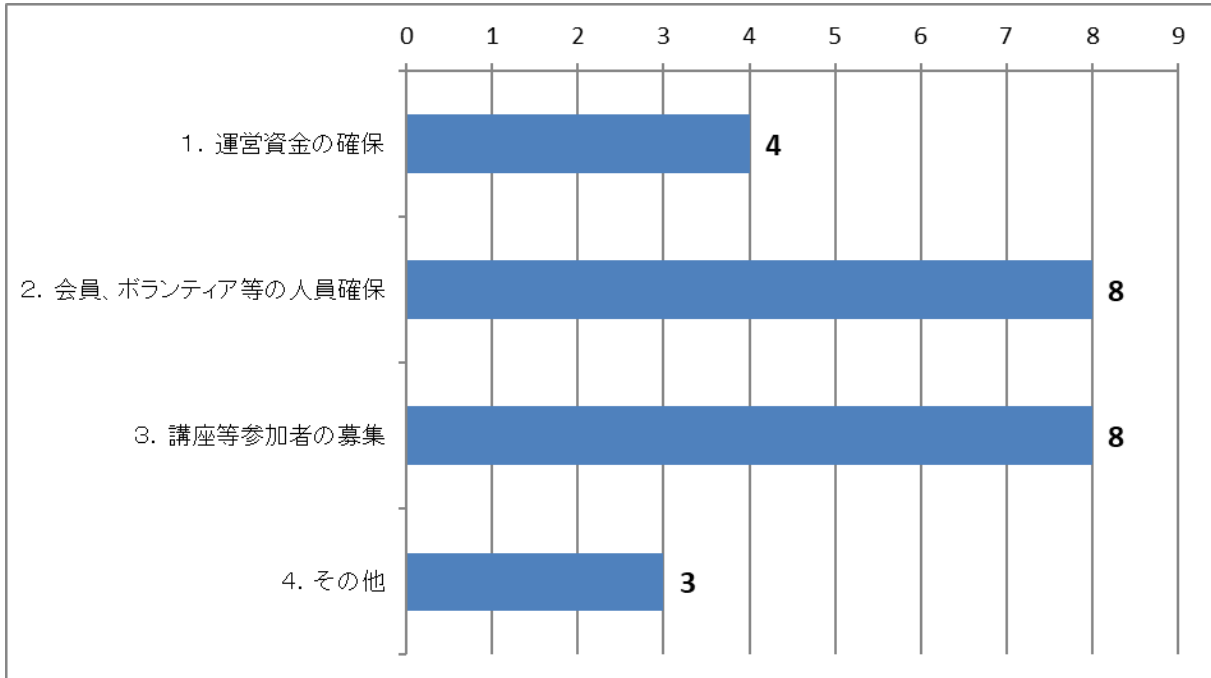
イベント・講座人： ライチョウ観察会

理由： 関心がある人が多いため

【問】貴団体の運営、イベント・講座等の実施にあたり、課題と感じていることは何ですか。

(複数回答可)

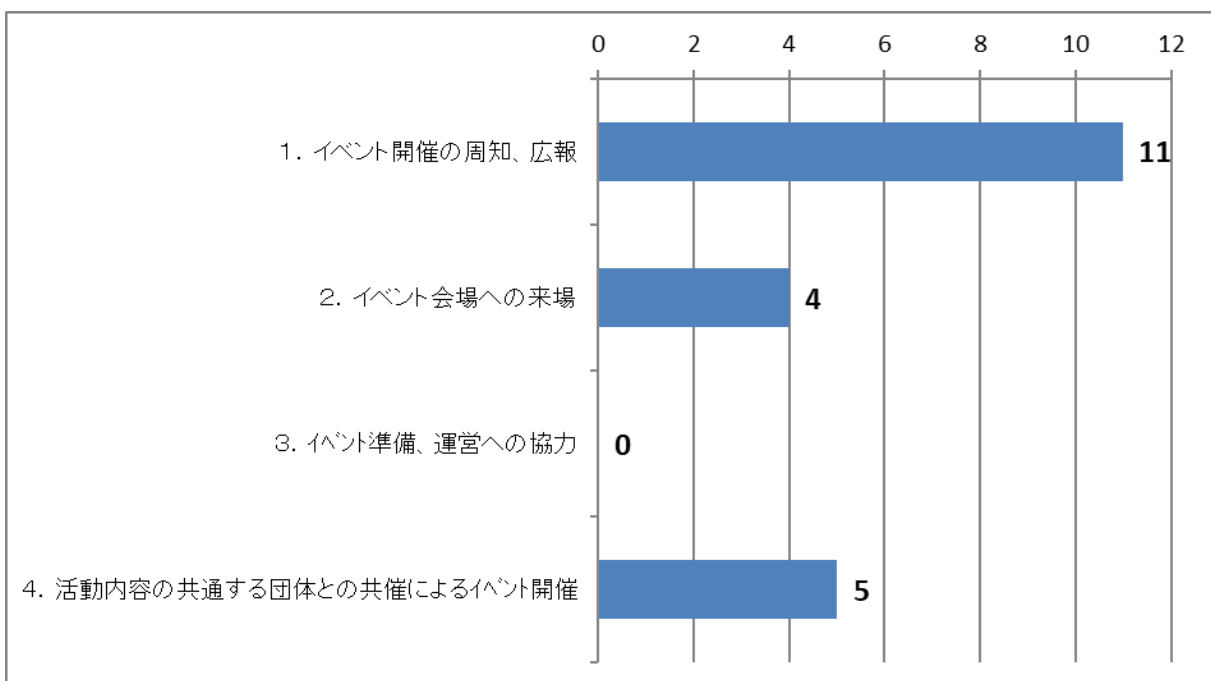
- 1. 運営資金の確保
- 2. 会員、ボランティア等の人員確保
- 3. 講座等参加者の募集
- 4. その他 ( )



※ 4. その他：運営スタッフの確保、良好な景観形成の維持

【問】貴団体がイベント・講座を実施する際、他のネットワーク登録団体や環境審議会などにどのようなことを期待しますか。該当する項目に○を記入してください。(複数回答可)

- 1. イベント開催の周知、広報
- 2. イベント会場への来場
- 3. イベント準備、運営への協力
- 4. 活動内容の共通する団体との共催によるイベント開催



【問】その他、今後環境市民ネットワークとして取り組んでみたい活動がありましたらご自由にご記入ください。（例：特定外来生物（アレチウリなど）の駆除活動）

- ・SDGsについての学習会又は講習会
- ・アレチウリの駆除活動を3回行ったが、少数の参加者で手に負えないと思います。
- ・SDGsについて
- ・イベント参加
- ・団体主催講座への講師派遣
- ・区の人達、区長、公民館長、PTA（高校生のイベント参加）
- ・県への景観サポーターの代表として、もっと皆と一つになって環境を考える行動を起こすべき。
- ・特定外来生物（アレチウリなど）の駆除活動
- ・具体的なテーマは思いつきませんが、ネットワークに参加する団体を増やし、安曇野市の環境に関する意識を向上するための対話をする機会があれば嬉しいです。

【問】長野県が開設した「信州環境カレッジ」事業について、該当する項目に○を記入してください。

1. 既に活用した講座を実施又は計画している。
2. 次年度以降、活用した講座の実施を検討している。
3. 活用の可否を検討するため、詳細資料の提供や説明会等の機会を求める。
4. 今のところ活用する予定はない。

